

会議録

会議の名称	平成18年度第5回 西東京市スポーツ振興審議会
開催日時	18年9月19日(火) 19時から20時15分まで
開催場所	田無イングビル 3階 第3会議室
出席者	渡邊会長、指田委員、北岡委員、小此木委員、蚊野委員、三原委員 事務局：東原課長、井上課長補佐、等々力係長、菅野主任
議題	議題 1. 西東京市スポーツ振興計画実施計画案について 2. その他
会議資料の名称	配布資料 資料12 西東京市スポーツ振興計画実施計画進行スケジュール表 資料13 西東京市スポーツ振興計画実施計画案 事前送付資料 前回会議録
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長 第5回スポーツ振興審議会を開催します。内田職務代理、伊藤委員・能知委員、栗林委員が欠席です。定数に達していますので開会いたします。 前回第3回会議録について委員からの一部修正の意見がありましたので、訂正部分を読み上げます。(省略) 続きまして第4回の会議録の承認について、特に無いようなので承認いたします。 それでは本日の配布資料について事務局より説明してください。</p> <p>事務局 資料12、13について説明します。資料12については今後の日程表で、どのように進めていくかを示しているもので、これまで話し合ってきたこの計画案を承認していただきますと、10、11月に各課ヒアリングを行い、全庁的なスポーツ施策をどのように行うかをまとめて実施計画を管理していきます。今年度は各課でスポーツ振興施策を行ってもらい来年の4、5月に各課への調査依頼、5、6月には平成18年度の評価見直しをし、そして10、11月に評価見直しの結果を作成いたします。 資料13については、前回までの資料で18、19、20年度の実施・検討を載せていた表を18、19年度だけを載せて進行管理していただく事で分かりやすく変更いたしました。また、重点プロジェクトについては「重点」と記入しました。施策事業の内容は変更ありません。この表を作成し18年度実施内容の具体的取り組みを各課あるいはスポーツ振興課で記入し来年5、6月にかけてこの表を完成させて総括をしていただくよう考えています。</p> <p>会長 資料の説明がありましたが、これまで数回に亘り西東京市スポーツ振興計画実施計画案</p>	

について審議した内容を踏まえて、新たな資料の提出がありました。本日はこの案を承認するための重要な会議でありますので宜しく審議をお願いします。それでは新たな資料についてご意見をお願い致します。

委員

資料の中で増えた項目で、例えば目標としてクラブマネージャー養成講座の派遣とありますが、具体的には何を書くようになるのですか。

事務局

来年の4月のクラブ運営スタッフの育成という項目はマネージャー養成講座への派遣となっていますが、具体的な取り組み内容の項目には派遣の回数とかクラブマネージャーが何人とか数値等が入ってきます。

委員

実施計画の欄への記入についてですが具体的目標が「計画」とか「継続」とは実施のレベルの項目だと理解し易いと思います。また、その内容が「実績」になると思います。例えば8月に研修会に参加してソフトボールを見たとした場合、そこで判断できるもので実績・成果とかにすると理解しやすいのではないかと思います。実施計画はできていて、継続、検討はスケジュールに沿っている。レベルとか実施の方が分かり易いのではないですか。

事務局

生涯学習計画はこのような形式になっています。他の計画についてこのような形式が多いと思います。

会長

計画・検討・実施となるが、実行数値目標との関連で評価するのではなく内容で行う。その成果を現認して同時に数値目標を参考にして包括的に管理していくのですね。

事務局

数値目標については毎年できないので、3~5年を定めて行うことになります。スポーツ振興を含めて行うのが大きな視点です。

会長

当該年度の財源の裏づけは予算化されている、既に18年度は事業も目標として載っていて進行管理も承認していることであると思う。1年ごとに予算化していくのですか。

事務局 予算化も必要ですが、中には予算を伴わないで出来るものも含まれています。

会長 「継続」と記されているものは既に予算化されている場合があり、「検討」が実施や継続になるのかが、これから進行管理して行く上でスポーツ振興審議会の役目となります。

事務局 各課に対して「出来るか出来ないか検討してもらおう」というケースもあるため、「検討」の記入が多くなります。

会長 「研究」は結果を出さなくても良いが、「検討」は結果を出さなければいけない性質のものです。

各委員の方で他にご意見はございませんか。

委員

実施内容と取り組み内容の違いで分からない部分はあるが、1年ごとのチェックをする必要はないし、状況が分かればよいので表現を変えても良いと思います。平成20年に検討課題がある程度見えてきたときに25年に向けてもう一度チェックするという大きな流れでよいと思う。「検討」は出来る出来ないの目安を立てるのが検討であると思います。その他全体的な流れはこれでよいと思います。

委員

クラブ育成の箇所それぞれ管理しているという課が全てそれぞれ管理しているということはあるのですか。

事務局

この段階では施策を持っていると考えられる部署をピックアップして書いたという状況です。

委員

一つのところで3つとか管理していてその中で一つはいいけど、後の2つは、まだという時はその一つの枠は3つに増える場合もあるということですか。

事務局

例えばスポーツ振興課で持っている施設は沢山ありますが、実際人がいて、パンフレットを置ける施設という10施設あるうちの1つか2つです。

書き方としては何施設中何施設と書くか又は何施設が置けるようになったとか具体的な記入方法はこれから検討していかなければならないことです。

例えば課税課とか企画課とかは内容が広がるし、児童課は児童館の施設が多いので、実際は何施設中何施設は公共施設の利用に検討してもらえるかという書き方になってくるかもしれないですが、それを全部入れるということになると表自体が分かりにくくなるのではないかと思います。

委員

113公共施設と224施設が統合することがあるのですか。

事務局

113は総合型地域スポーツクラブ活動拠点の場所と数で、224はもっと広くスポーツの出来る場所などの施設です。

会長

他にご意見はございますか。

委員

最初のページになりますが、その内容が空欄になっていますが、今、にしはらスポーツクラブが出来ていますが、これは次に立ち上げるスポーツクラブのことですね。何か検討していく予定があるのですか

事務局

次期スポーツクラブは19・20年度にスタートさせる予定であり、現在にしはらスポーツクラブを充実させることです。ただし、結果として18年度に出てくる場合もあります。

事務局

国体に向けた動きについて、明日(9月20日)、東京都の国体準備室職員が北部地区の現地調査に来ます。10月をめどに開催の場所の選定に入っていきます。西東京市は予備調査の段階で剣道を出しましたが、都から、当市での剣道競技の開催は施設規模の面で難しいと言われております。体育協会として可能性があるのはバスケットボールであるということですが、バスケットボール競技全体では観客人数が約7千から8千人の収容が必要であるため1市では無理なので武蔵野市が未だ白紙であることから、お互いに協力していきたいと確認しています。それには武蔵野市の体協も同意しています。

多摩北部の他市の状況について東久留米市はロッククライミングで内諾を受けています。清瀬市はこの7月にサッカー場を作り(帝京高校が使用している)小平市は立川市と手を結んでバレーボールを行う予定です。東村山市もバスケットボールでも良いという考えはあるようです。一箇所で行う場合は協会にアクションをしていきたい。当初は多摩国体であったがオリンピックの招致が決定してからは東京都も多摩国体へのトーンが少し変わってきているようですが、何とか子供達に身近な場所でトップレベルの競技を見

せてあげたいと思います。委員の皆さんのご意見はいかがですか。

委員

国体の思いまでは行かないが、陸上部の引率で行った時に大会のスタッフが沢山いましたが、20代30代40代はほとんどいなく60代後半から70代の人達で、それを見ているとスポーツ振興が本当に必要であると実感しました。競技者も必要であるがそれを支えていく若い人も必要であると感じられました。体協も年齢層はかなり高いです。

会長

国体に対する市の熱意を感じるし、また支えたいと思います。私がスポーツ振興計画を手がけるのは今回で2回目ですが、これまでも振興計画の内容に施設の充実を入れる必要を感じていましたが、経済的状況から既存の施設で利用せざるを得ませんでした。今後景気が上昇してきてもスポーツ施設に対しての予算化は難しいと思いますので、既存の施設を活用し国体が成功するように望んでおります。

また、今日はスポーツ振興計画実施計画案を審議いただき、内容については理解をいたしましたので、今後は実現化に向けて力を入れて西東京市のスポーツ振興方式に基づいて審議会としてはバックアップしていきたいと思います。本日のスポーツ振興計画実施計画についてはご異議が無いようなので承認いたします。